

地震に挑む、30年の歩みとこれから

30

周年

特別シンポジウム

地震調査研究推進本部

令和7年10月14日(火)

参加費無料

オンライン配信有

14:30~17:45(13:30開場)

文部科学省講堂

14:30 開会挨拶

14:35 第1部
基調講演

地震本部の30年の成果と今後の展望
平田 直 地震本部地震調査委員会委員長

15:05 第2部
講演及び
パネルディスカッション

南海トラフのスロー地震～稠密観測網の成果～
小原 一成 防災科学技術研究所 フェロー

測地データを用いた内陸地震の長期予測
西村 卓也 京都大学防災研究所 教授

光ファイバーセンシング計測が拓く
超高密度海底地震観測
篠原 雅尚 東京大学地震研究所 教授

パネルディスカッション
防災に貢献する南海トラフの地震活動の
観測・研究

登壇者

福和 伸夫	地震本部政策委員会委員長
平田 直	地震本部地震調査委員会委員長
加藤 孝志	気象庁地震火山部長
加登 美喜子	(株)日建設計ダイレクター
小平 秀一	海洋研究開発機構理事
浜田 展和	高知県危機管理部副部長

(順不同)

ファシリテーター

所澤 新一郎 共同通信編集局編集委員

17:40 閉会挨拶

事前登録はこちらから

参加される方は、下記のURLまたはQRコードにアクセスいただき、事前登録をお願いいたします。(オンライン視聴含む)

※今回の申し込みで取得した個人情報は、本シンポジウムに関する連絡以外には使用いたしません。

登録締め切り 10月8日(水)

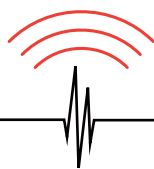
参加費無料・要事前登録

定員 **300** 名

<https://forms.office.com/r/HBG1kfWhJQ>



地震調査研究推進本部 30周年 特別シンポジウム



開催趣旨

地震調査研究推進本部（地震本部）は、阪神・淡路大震災をきっかけとして、地震に関する調査や研究を政府として一元的に推進するとともに、その成果を社会に伝えるために平成7年に設置され、今年で30周年を迎えました。

地震本部は、活断層や海溝型地震の評価、全国地震動予測地図の作成とともに、観測網の整備や予測技術の高度化等を通じて、国や地方公共団体の防災対策にも貢献しています。平成28年の熊本地震や令和6年の能登半島地震では、複雑な地震活動への対応と情報発信を強化しました。

本シンポジウムでは、これまでの成果を振り返るとともに、巨大地震に備えた今後の地震本部のあるべき姿を考えます。

第1部 基調講演



平田 直
(地震本部地震調査委員会委員長)

1954年、東京都生まれ。東京大学名誉教授。著書には『地震を知って震災に備える』（亜紀書房、2024年）、『首都直下地震』（岩波書店、2016年）や『巨大地震・巨大津波 - 東日本大震災の検証-』（朝倉書店、2011年）などがあり、地震のメカニズムや防災の重要性を広く伝えている。2017年には防災功労者として内閣総理大臣表彰を受賞。

第2部 講演 及び パネルディスカッション

講演



小原 一成
防災科学技術研究所
フェロー



西村 卓也
京都大学防災研究所
教授



篠原 雅尚
東京大学地震研究所
教授

パネルディスカッション



福和 伸夫
地震本部政策委員会
委員長



平田 直
地震本部地震調査委員会
委員長

パネルディスカッション



加藤 孝志
気象庁地震火山部長



加登 美喜子
㈱日建設計ダイレクター



小平 秀一
海洋研究開発機構理事



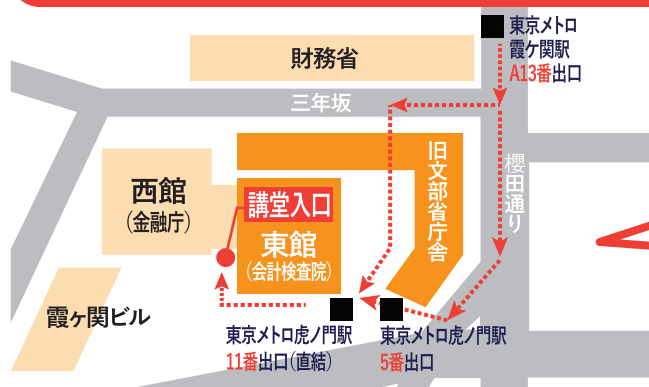
浜田 展和
高知県危機管理部副部長

ファシリテーター

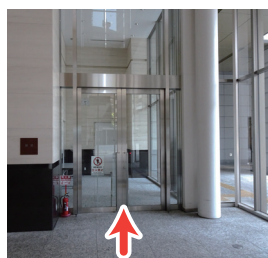


所澤 新一郎
共同通信編集局編集委員

アクセス



こちらから入って右扉奥のエレベーターまたは階段で2階の講堂入口までお越しく下さい。



＜お問い合わせ先＞ 株式会社建設技術研究所/参加申込み受付係（文部科学省からの運営業務請負業者）

【e-mail】 jishin-shympo30@ctie.co.jp 【TEL】 03-3668-1342（受付時間 9時から17時 土日祝日除く）

30 YEARS SYMPOSIUM